

連絡先と家族の情報	2
安否確認	3
名取市の行動	4
マイ・タイムライン	5
災害に備える	6
情報の収集	8
名取市の緊急時防災情報	10
大雨・洪水・土砂災害情報が発表されたら...	11
地震が起きたら	12
応急手当	14
感染症が収束しない中での災害時の 避難行動及び避難所生活	15
名取市のこれまでの主な自然災害.....	16
ハザードマップの表示について	17
名取市ハザードマップ.....	18

2020年
発行

公衆電話の
設置場所も一目で分かる!

ハザード
マップ付

自分の命は自分で守る

名
取
市
民

防災
マニュアル

いつでも見られる
いつでも持ち出せる
備えをしておこう



安否確認

安否を確認する手段をあらかじめ決めておこう。



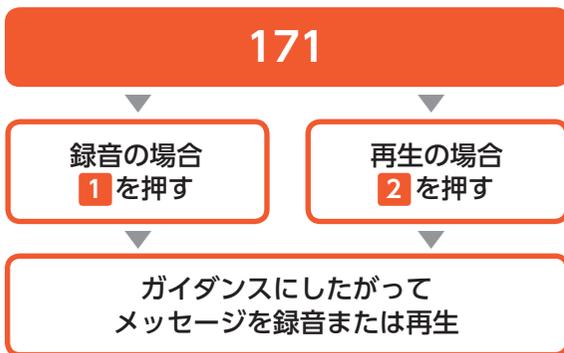
▶ 各種災害用伝言サービスの特徴

使用機器	電 話	パソコンなど (web接続可能な機器)	携帯電話・スマートフォン
サービス	171	『web171』で検索	各社公式メニューや専用アプリ
登録可 番号	すべての電話番号 <small>固定電話は被災地域の市外局番に限る</small>	すべての電話番号 <small>携帯、PHS、IP電話の番号でも登録可能</small>	携帯の電話番号 <small>登録時は自動的に登録され入力不要</small>
保存期間	サービス終了時まで	6ヶ月	サービス終了時まで
登録件数	1～20件 <small>被災規模によって変わります</small>	20件 <small>携帯各社伝言板、171の伝言も一括検索</small>	10件 <small>携帯各社によって変わります</small>
1件あたりの 保存可能な 時間・文字数	録音時間 30秒/件	登録文字数 100字/件	登録文字数 100字/件

各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日等に体験利用ができます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。

※メールなどによる安否確認も有効な方法です。

▶ 災害用伝言ダイヤル(171)の使い方※



▶ 災害用伝言板(web171)の使い方



登録内容を確認できます！ ▶▶▶

J-anpi

<https://anpi.jp/>

【災害用伝言ダイヤル(171)の注意】

登録できる電話番号(被災地電話番号)…災害により電話がつながりにくくなっている地域の電話番号および携帯電話・PHS・IP電話の電話番号。なお、電話番号は市外局番から入力していただく必要があります。

※一部の電話からはご利用できません。他事業者の電話、携帯電話やPHSからの利用については、契約している通信会社にご確認ください。

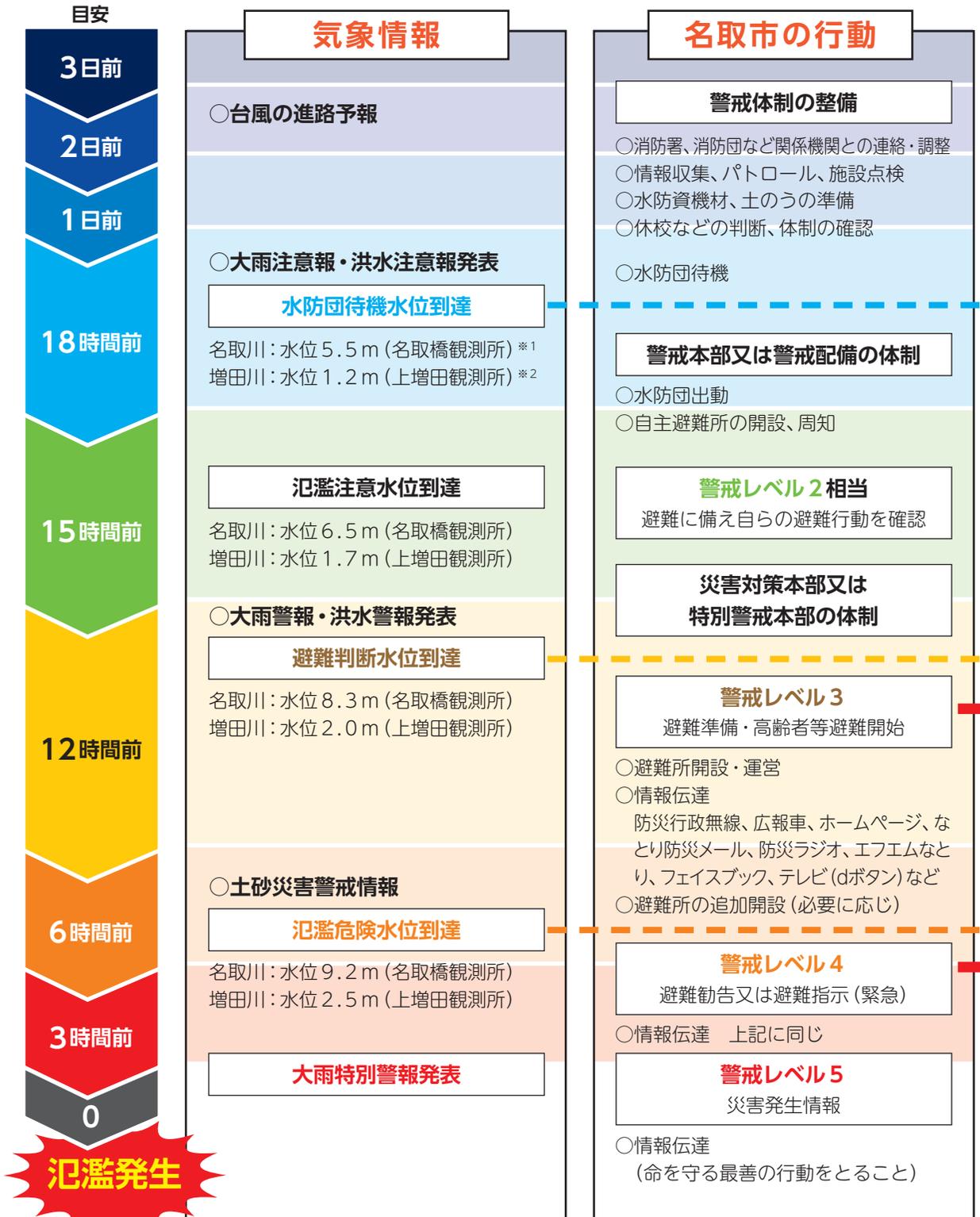
※NTT東日本・NTT西日本の電話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。他事業者の電話、携帯電話やPHSから発信する場合、通話料については各電話会社にお問い合わせください。くわしくは、URL (NTT東日本)<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

名取市の行動

マイ・タイムラインを作成してみましょう!

マイ・タイムラインとは、台風や風水害の発生に備えて、一人一人の家族構成などに合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難計画のことです。

※1 名取橋観測所…仙台市太白区大野田大橋本 ※2 上増田観測所…飯野坂一丁目



マイ・タイムライン

※自分や家族の行動について、いつ、誰が、何をするのかを時系列で整理することによって、いざという時にあわてず、安全に避難できるように、自分の逃げ方を見つけましょう。

住民の皆さんの行動

- テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の確認
- 家族間の連絡
- 非常用持出し品の準備
- 自宅周辺の安全確認
 - ・側溝の清掃
 - ・飛びやすいものの片づけ
 - ・窓の飛散防止（テープで固定など）

避難ルートの検討

- ハザードマップで避難所、避難ルートの確認。（避難先は、必ず避難所とは限りません。自宅2階以上への垂直避難や、より安全な知人宅もあります。）

自主避難開始

※自主避難所を開設する場合は、開設場所、開設時間を、事前に市から周知します。

- 避難所開設情報の確認

高齢者や障がい者、小さなお子様のいる家庭など、避難に時間がかかる方は避難開始

- 高齢者等以外の方は避難の準備
 - 避難所開設情報の確認
- ※全ての避難所を開設するということではなく、左記の情報伝達手段により確認してください。

対象地区の方は避難開始

避難完了

すでに災害が発生しています。
命を守る最善の行動をとってください。
周辺の状況によっては屋外に出ることは危険な場合があります。

マイ・タイムライン

自分や家族がどう行動するのか記入してみましょう！

目安

3日前

2日前

1日前

18時間前

15時間前

12時間前

6時間前

3時間前

0

氾濫発生

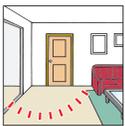
災害に備える①

平常時に行う対策

- 災害時を常に想定しておく
- 自宅家屋の耐震強度の確認、改修・補強
- 周辺地域の環境から予想される災害の確認とその備え
- 避難場所・避難ルートの検討(実際に歩いて状況を確認する)
- 幼児や高齢者などの避難に誰が付き添うか



家の中の安全対策



- 背の高い家具がない
安全なスペースを確保する



- 出入り口や通路には
ものを置かない



- テレビやガラス類を
高いところに置かない



- 寝室や子ども・高齢者がいる部屋
には、倒れそうな家具を置かない



- 家具の転倒や落下を
防止する対策を講じる



- 窓ガラスに
飛散防止フィルムを貼る

避難の際携行するもの

- 避難が必要なとき
- 火事の危険が迫ってきた
- 家が倒壊しそう
- 避難指示が出た



避難

身につけるもの

- ヘルメットなど
- 厚底の靴
- 軍手
- マスク
- 携帯電話・スマートフォン



リュックに入れて持ち出すもの

- 飲料水(500ml程度 家族各人1本ずつ)
- 携帯ラジオ
- 筆記用具・メモ帳・笛
- トイレットペーパー・ティッシュ・ウェットティッシュ
- 衛生用品・生理用品
- おむつ・離乳食・乳児用ミルク
- 保険証・メモカード
- 携行食(ビスケット、チョコレート、バランス栄養食品など)

- 懐中電灯・予備電池
- ビニール袋・ポリ袋
- 防寒具・雨具・携帯カイロ
- 応急医療品
- 携帯電話・充電器・バッテリー
- タオル・下着・靴下
- 現金(小銭)・通帳・印鑑
- 多目的ナイフ



自分にしかあわないものは常時携帯しましょう

- 入れ歯・コンタクトレンズ・眼鏡
- 常備薬・お薬手帳

災害に備える②

備蓄品

救援物資が届くまで、または災害が落ち着くまで、生活をするためのものです。

【必ず用意しておくもの】

- 飲料水(1人1日3ℓ×7日分×家族数)
- 紙皿・紙コップ・割り箸
- 保存可能な食料(7日～10日分程度)
- タオル・毛布
- カセットコンロ(予備ボンベ)
- ランタン・懐中電灯(予備電池)

【必要になるもの】

- スリッパ
- 簡易トイレまたはポリ袋
- ほうき・ちり取り
- スコップ・バール・ジャッキ・おの・のこぎり
- ウォータータンク・荷物運搬カート
- 軍手
- ブルーシート
- 使い捨てカイロ
- ラップ・アルミホイル
- ハンディろ過機(水の清浄)
- トイレットペーパー・ティッシュ
- 高密度ポリエチレン
- レジ袋
- 45リットルごみ袋

【家族構成によって必要になるもの】

- 母子健康手帳
- 粉ミルク・ほ乳瓶・離乳食
- 生理用品
- 障がい者手帳・介護用品

【ペットがいる場合】

- ペットフード
- その他ペット用品

避難所で便利なもの

避難のあと自宅に荷物を取りに戻れる場合、下記のものがあると便利です。

- 毛布・寝袋・座布団
- ライター類
- 缶切り・多目的ナイフ
- ガムテープ
- 空の段ボール箱
- 筆記具・メモ帳
- マスク・帽子
- 着替え・大型タオル・スリッパ
- 洗面用品・マウスウォッシュ
- 応急医薬品(ばんそうこう・きず薬・胃腸薬・風邪薬・目薬・サプリメントなど)
- アイマスク・耳栓・補聴器・入れ歯用洗浄剤
- ハンディろ過機(水の清浄)

備蓄品の注意

衣類などは季節によって必要なものは変わります。食料品や飲料水などは賞味期限があるため、定期的にチェックを!



情報の収集①

災害時に以下の手段を用いて防災情報を伝えています。

災害時の情報収集は、被害を軽減したり、避難のタイミングを決定するうえでとても重要です。ここでは、いろいろな情報発信ツールを紹介します。正確な最新情報の取得に努めましょう。

情報の収集に努めましょう

テレビやSNS、インターネットなどから発信される情報に注意しましょう。



テレビ・ラジオ

発災時、情報収集手段のうち最も利用するのはテレビ・ラジオ。特に乾電池でも動作するラジオは停電の中でも最も早く、確実な情報を入手するために有効です。充電器とともに必ず準備するようにしましょう。(予備乾電池の買置きも忘れずに)



ラジオ放送の中でもコミュニティ放送はFM放送の周波数を用いて、住まい周辺の臨時災害放送を流します。地域に密着した防災情報となるため事前に周波数を調べておきましょう。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

東日本大震災では、様々なSNSによって情報収集が行われました。福島民報では震災の2日後にTwitterアカウントを開設し、給水所や避難所、学校の休校情報などの生活情報を配信しました。これによりわずか2日で6,600のフォロワー数※が集まり、地元住民にとっての貴重な情報源となりました。(平成23年度版 情報通信白書 総務省)
※他人のツイートを受信するように登録している人。Twitterのアカウントをフォローしている人のこと。

SNSとはネット上で社会的つながりを持つことができるサービスです。SNS(LINE、Facebook、Twitter、など)でのつながりを通じて、最寄りの自治体ともつながっておこう。



インターネット

防災シミュレーター/各自治体防災情報(内閣府)

各都道府県ごとに設けている防災に関するホームページを一覧にし、それぞれの住まいの周辺に関する防災情報にアクセスすることができます。

<http://www.bousai.go.jp/simulator/list.html>

【主なコンテンツ】

- 避難所マップ
- ゆれやすさマップ、ハザードマップ
- 注意報、警報
- 災害緊急情報



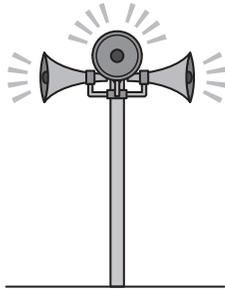
情報の収集②

自治体が発信している防災・災害情報

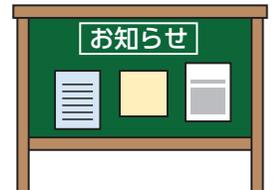
自治体が被災を免れて正常に機能していた場合に限り。また、各自治体により異なる場合がありますので、事前に確認しましょう。

防災行政無線・広報車・緊急告知ラジオ

防災行政無線や広報車は避難勧告や避難指示を出し、警報や注意報を流します。また、救援物資の配布場所や給水車が来る場所など生活に密接に関わる情報を流します。



役所や避難所に出される掲示板 主に被災地域の安否情報や連絡事項



自治体ホームページの災害情報・防災メール配信サービス 自治体公式Twitter(ツイッター)・Facebook(フェイスブック)

自治体ホームページでは、刻々と変わる災害情報や防災行政無線の放送内容、警報・注意報を発信しているほか、住まい周辺の避難所や救急指定・災害拠点病院の情報、道路や交通機関の情報などを提供しています。また、自治体公式のメールサービスやTwitter(ツイッター)などを登録しておけば、ホームページから発信される前述の情報を携帯やパソコンで受信することが可能です。ホームページアドレスはブックマークへ、配信コンテンツは事前に登録しておきましょう。



全国瞬時警報システム(Jアラート)

Jアラートとは

緊急地震速報、大津波警報、弾道ミサイル情報等の緊急情報を、国から人工衛星および地上回線を用いて送信し、市区町村の防災行政無線や携帯メール、コミュニティFM等を自動起動させ、住民まで瞬時に伝達するシステムです。

Jアラートで伝達される情報

- 自然災害に関する情報 ▶ 緊急地震速報など
- 国民保護に関する情報 ▶ 弾道ミサイル情報など

どこから放送が流れるの?

防災行政無線・携帯メール・コミュニティFM・CATV・MCA無線など
※各市区町村により異なります。



放送例

緊急地震速報

🔊 警報音：ピロン ポローン♪
ピロン ポローン♪

「緊急地震速報。大地震です。大地震です。」

大津波警報

🔊 警報音：ウー♪ ウー♪ ウー♪

「大津波警報。大津波警報。
ただちに高台に避難してください。」



弾道ミサイル情報

🔊 警報音：ブー♪

「ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射された模様です。建物の中または地下に避難してください。」

※メッセージは状況に応じて変更の可能性があります。



名取市の緊急時防災情報

防災ラジオ

名取市では、さらなる情報伝達手段の多重化を図り市民の皆さんに緊急情報を伝えるため、コミュニティFMなど（なとり801）を通じて自動で起動・同調する緊急告知ラジオを有償配布しています。（普段はAM・FMを聴くことができます。）

※受信できない場合には、受信支援機器を設置する制度（有償）がございます。

申込方法など

防災安全課または公民館備え付けの「防災ラジオ申込書」を記入・捺印のうえ提出してください。なお、申込状況によっては、引き渡し時期に遅れが生じることがございます。（詳しくは、名取市ホームページをご覧ください。）

電源と停電への備え

電源オフでも常に待機している状態なので、普段はご家庭などのコンセントに接続してください。停電時は乾電池による稼働に切り替わるので、確実に情報をお伝えするため、必ず乾電池を入れておいてください。

なとり防災メール

市民の皆さんの安全の確保、不安の解消に役立てていただくよう、緊急時に地震・防災情報などをメール配信しております。ぜひご登録ください。

登録方法

次の二次元バーコードを読み取るか、宛先を指定してメールを送信します。又は登録フォームよりご登録ください。届いた登録確認メールの件名と本文を残して返信すると、登録完了メールが届きます。

メールで登録する場合

【宛先】

bousai1-entry@natori.e-msg.jp



登録フォームから登録する場合

【URL】

<https://natori.e-msg.jp/bousai/>



※二次元バーコードは、カメラ又はアプリケーションを起動し読み取ってください。

登録確認メール・登録完了メールが届かない場合は

1. メールが「迷惑メールフォルダ」などに振り分けられていませんか？
2. デコレーションメール、HTMLメール、長い署名入りメールを送信していませんか？
3. 登録確認メールの件名と本文を残して返信していますか？
4. [e-msg.jp] ドメインからのメール受信許可設定が必要です（設定方法は、各携帯電話事業者にお問い合わせください）

解除方法

登録時と同様、上記の二次元バーコードを読み取るか宛先を指定してメールを送信すると、メール配信の中止を確認するメールが届きます。そのメールに返信すると解除が完了します。

困った時のお問い合わせ窓口

ご不明な点はフリーダイヤルまでお問い合わせください。

 0120-47-3712

（受付時間：平日9時00分～17時00分）

大雨・洪水・土砂災害情報が発表されたら

雨風が強まってきたらどうするか？

大雨情報をキャッチしたら、わが家でこんな安全対策を

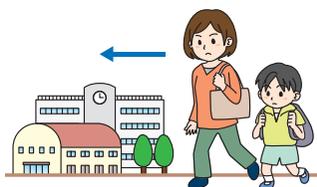
- ①ラジオやテレビなどで、気象情報にはくれぐれも注意する。
- ②自治体の広報をよく聞いておく。
- ③停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ④非常持出品を準備しておく。
- ⑤外出からは早く帰宅し、勤務先の家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ⑥浸水に備えて、家財道具は、安全な場所へ。
- ⑦飲料水や食料を確保しておく。
- ⑧危険な土地では、いつでも避難できるよう準備する。

早めの避難に
勝る防災なし！



危険を感じたらすぐ避難しよう

急激な降雨のように、突発的な異常気象の場合には、自治体からの避難情報が間に合わないケースもあります。身の危険を感じたら、自治体からの避難情報を待つことなく、安全な場所や避難所などへ自主的に避難しましょう。



命を守る最低限の行動とは

危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。

屋外に出て指定された避難所などへ移動（水平避難）することが危険と感じる場合や、その余裕がない場合は、自宅や隣接建物の2階以上へ避難（垂直避難）することが安全な場合もあります。



避難するときのポイント

◇洪水のときはこうして避難◇
— 洪水の中を歩くときの注意 —



歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救助を待ちましょう。



水面下にはどんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きます。



裸足、長靴は禁物。ひもで締められる運動靴が良いでしょう。



はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。特に子どもから目を離さないように！



お年寄りや身体の不自由な人などは背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保して避難します。

地震が起きたら

地震が起こったらどうするか？

揺れを感じたときの10分間行動の例

地震発生時は、自分の置かれている状況がつかめず、混乱しがちです。まずは自分と家族の身を最優先に守りましょう。これはあくまで行動の一例です。そのときの状況によって判断しましょう。

地震発生



身を守る

机の下など、物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を隠し、座布団やクッションなどで頭を覆い安全を確保しましょう。



靴を履く

大きな地震が起きた際には窓ガラスや食器が割れてケガをする恐れがあります。特に停電時は大変危険なので屋内でも靴を履いておきましょう。



出口を確保

地震で建物がゆがみ、ドアなどが開かなくなることもあります。いつでも避難ができるよう、窓や玄関の戸を開けて逃げ場をつくりましょう。



火元・ブレーカーの確認

震度5相当以上の地震が起こると「マイコンメーター」が自動的にガスを止めてくれるようになっています。また、通電再開時に火事が起こることもあります。電気のブレーカーは必ず落としましょう。

揺れの大きさと状況判断!



避難

避難経路に沿って、速やかに避難しましょう。

自宅待機・情報収集

地震発生後は、火が広がる恐れがあります。自宅が安全と判断した場合も、いつでも避難できるように準備しておきましょう。また、地震発生時は、情報が錯綜しています。うわさなどに惑わされず、正しい判断ができるよう、ラジオなどで正確な情報を収集しましょう。

【参考:広島FM「私だけの防災ハンドブック」】

地震が起きたら〈津波からの避難〉

東日本大震災では、関上漁港付近に約9mの津波が来ました。もう一度、避難行動を確認しておきましょう。

津波避難のタイミング

強い揺れを感じたり、弱くてもゆっくりとした揺れが続いた場合は、津波警報などの発表や避難指示（緊急）の発令を待たずに、すぐ避難を開始してください。津波は第一波が最大であるとは限らず、何度も襲ってきます。警報や注意報が解除されるまで、安全な場所にとどまりましょう。

警報など	津波予想高	発令種別	発令区域	行動
大津波警報	3m以上(巨大)	避難指示 (緊急)	関上、下増田地区全域	近くの避難所等に直ちに避難 関上公民館、関上小中学校、関上中央第一団地、関上中央第二団地、下増田小学校、まなウェルみやぎ、潜匠建設、仙台空港ビル、又は仙台東部道路の避難階段など
津波警報	1~3m未満(高い)		仙台東部道路から東側	
津波注意報	~1m未満		貞山堀から東側	

津波から命を守るために(災害時の対応)

長い揺れ、強い揺れを感じたら、すぐ逃げる!

東日本大震災の名取市では、最大震度6強の揺れが約3分間継続し、津波高9mを超える巨大津波が襲来しました。

➡ **長い揺れ、強い揺れを感じたら
すぐ逃げる!**

明治三陸地震では、震度2または3という比較的小さな地震が約5分間も継続し、岩手県では約30分後に巨大津波が襲来しました。

➡ **弱く長い揺れでも津波は来る!**

日本海中部地震では、秋田県能代市で震度5の揺れが発生して約10分後、北海道南西沖地震においては北海道奥尻島で震度5の揺れが発生して約5分後に巨大津波が襲来しました。

➡ **すぐ逃げる!**



仙台国際空港



県農業高校

津波から命を守るために逃げる! 率先避難を!

東日本大震災に関する多くのアンケートで、すぐに避難しない人が多かった状況が報告されています。

➡ **率先して避難する!
1軒1軒、扉を叩くのではなく、「おれは逃げるぞー!」と大声を出して逃げる。**

津波被害の大きかった自治体で、消防団や町内会の役員など避難誘導を行っていた人が犠牲になっています。

➡ **自分の命は自分で守る。**

●名取市津波避難アンケートでも、避難の遅れが確認されています。

- ・一度自宅に戻ったり、家族を迎えに行ったりする用事後の避難
 - ・津波を見た、異常な音を聞いたなどの切迫した避難
 - ・避難が間に合わず、流されたが助かった、浸水の中で耐えた
- ※津波ではちょっとした避難の遅れが生死の分岐点になることがあります。

●関上保育所の率先避難

海岸線から約500m地点にありながら、1人の犠牲者も出すことなく、子どもたち全員(54人)の生命を守ることができました。保育所では、大地震の際には車で関上小学校に避難することを決めており、毎年行われる関上地区の防災訓練に参加していました。釜石の奇跡で有名な群馬大学の片田教授は、関上保育所の避難を避難の3原則を実践した結果だと述べています。

避難の 三原則

原則1
想定にとらわれるな

原則2
その状況で最善を尽くせ

原則3
率先避難者たれ

応急手当

災害時に想定される代表的なケガは、切り傷などによる出血、骨折、やけどです。最低限の応急手当は覚えておきましょう。

出血している場合

- ① 感染の危険性を防ぐため
ビニール袋や手袋をする。

【手袋の替わりになるもの】

- ・ビニール袋
- ・ラップ



- ② 止血する。

【直接圧迫止血法】

傷口を清潔なガーゼや
ハンカチで強く押さえる。

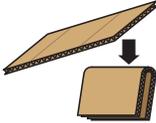


骨折している場合

- ① 骨折した部分の外側・
内側からあてるための
副木を用意する。
(骨折部の両側の関節より
長いもの)

【副木として使えるもの】

- ・新聞紙
- ・雑誌
- ・段ボール
- ・傘 など



- ② 患部上下の関節を固定
する。

【関節を固定するときに使えるもの】

- ・ハンカチ
- ・タオル
- ・ネクタイ



タオルなど(柔らかいもの)

- ③ 腕を吊る。

【腕を吊るときに使えるもの】

- ・レジ袋
- ・スカーフ
- ・ベルト



やけどの場合

- ① 受傷後はすぐに水道水
などの清潔な流水で10
分～30分冷却する。



- ② 衣類の上からのやけど
は、患部に接している
衣類は脱がせないよう
にし、まずは10分～30
分衣類を着たまま流水
で冷す。

- ③ 冷却後、清潔なガーゼ
やタオルなどをあてて
救護所へ。タオルの上
から間接的に保冷剤や
氷を入れたビニール袋
で冷すと、痛みを軽く
することができます。

注意)

水ぶくれは、やけどの傷口を保護する役割があるため、破れないように気をつける。患部を氷水に浸したり、氷で直接冷すと、凍傷を起すことがあるので注意する。

感染症が収束しない中での災害時の避難行動及び避難所生活

感染症が収束しない中での災害時の避難行動

新型コロナウイルスなどの感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

避難とは[難]を[避]けること

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

避難先は、小中学校・公民館だけではありません

安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。



非常食だけでなくマスク・消毒液・体温計は、できるだけ自ら携行して下さい

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です

やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

避難所生活

健康や衛生の管理に気を付けましょう

- ・避難所ではこれまでの生活と違い環境が変わりプライバシーも取れない状況があります。自分自身で体調管理に気を付けましょう。
- ・エコノミークラス症候群を予防するために、適度な運動と水分補給をしましょう。
- ・熱中症予防のため、水分補給や衣服の工夫（通気性のよいもの等）をしましょう。
- ・食中毒の予防のため、手洗い、消毒、賞味・消費期限の確認をしましょう。



ペット動物の注意点

避難所にはたくさんの人が集まります。動物が好きな人、嫌いな人、動物のアレルギーを持つ人、動物に不用意に手を出しかねない幼い子どもなど、多様な人々が一緒に暮らす場所ですから、動物の飼い主は普段よりも周りに配慮することが求められます。名取市では、ペットの同行避難については、他の避難者のペット・アレルギーの有無や、鳴き声の影響などを踏まえて、可能な範囲で対応します。避難所では、動物の世話やフードの確保、飼育場所の管理は飼い主の責任のもとに行うこととなります。衛生的な飼養管理を行うことはもちろん、周りの人に配慮したルールを作り、飼い主同士が協力して助け合いましょう。



名取市のこれまでの主な自然災害

チリ地震津波(昭和35年5月24日早朝発生)

5月21日、南米チリで発生したマグニチュード9.5の地震により発生した津波が、数日後に日本に到達し、大きな被害をもたらした。名取市には5月24日早朝に津波が押し寄せ、閑上漁港から出港途中の漁船が転覆し、死者が出るなどの被害があった。

【名取市の被害】

死者2名、行方不明者3名のほか、漁港施設への被害など。

宮城県沖地震(昭和53年6月12日発生)

6月12日17時14分に発生したマグニチュード7.4の地震で、仙台で震度5を観測。都市型災害の典型と言われ、停電・断水などのインフラ被害のほか、ブロック塀倒壊による死者が出た。

【名取市の被害】

幸い死者はなかったものの200名以上のけが人の報告があり、また家屋やブロック塀の倒壊、水道管の破壊による断水などの被害があった。

8.5豪雨(昭和61年8月4日～5日発生)

台風10号から変わった熱帯性低気圧の北上に伴う豪雨で累計雨量は397mmを観測した。この大雨により、各河川の水位は警戒水位をはるかに突破した。

【名取市の被害】

軽傷2名、全壊1棟、一部損壊10棟、床上浸水310棟、床下浸水1,410棟

9.22集中豪雨(平成6年9月22日～23日発生)

発生確率が約200年に一度と言われる集中豪雨で、樽水ダムで時間雨量84mm、累計雨量478mmを観測した。この豪雨で樽水ダムは洪水調整機能を喪失し(満杯となり溢れ)増田川が氾濫したほか、川内沢川、志賀沢川、五間堀川が氾濫し、局地激甚災害に指定された。

【名取市の被害】

軽傷1名、全壊2棟、半壊2棟、一部損壊8棟、床上浸水946棟、床下浸水1,737棟、河川の損壊15か所、道路の損壊129か所、がけ崩れ35か所

東日本大震災(平成23年3月11日発生)

3月11日14時46分、三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震により、名取市では震度6強を観測。揺れは約3分続いた。15時52分には9mを超える津波が押し寄せ、海岸から最大約5kmまで浸水し、沿岸部は壊滅的な被害を受けるなど、市内全域に大きな被害をもたらした。

【名取市の被害】

死者923名、建物被害(住家・非住家計)16,796件(うち全壊3,765件)
最大避難者数11,233名
(平成26年3月31日現在)

令和元年東日本台風(台風第19号)(令和元年10月12日～13日)

10月12日から13日にかけて、大型で強い勢力で上陸・通過した台風19号により、関東から東北の広範囲で記録的な大雨となり、名取市内でも累計約350mmの雨量を観測。名取市にも一時大雨特別警報が発令され、増田川が氾濫危険水位に達したほか、各地で冠水被害があった。

【名取市の被害】(※令和2年3月31日現在)

住宅被害 一部損壊24棟、
床上浸水43棟、床下浸水142棟

ハザードマップの表示について

アイコン

 **避難所**…災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在する施設です。

 **避難場所**…災害による危険が切迫した状況において、緊急に避難する場所です。

 **津波**…津波災害が発生した場合の避難所もしくは避難場所を示します。

 **洪水・内水氾濫**…洪水・内水氾濫等災害が発生した場合の避難所もしくは避難場所を示します。

 **土砂災害**…土砂災害が発生した場合の避難所もしくは避難場所を示します。

 **緊急避難階段**…津波災害等発生した場合に緊急で仙台東部道路に避難する避難階段です。

 **風水害時の車両の緊急避難場所**

津波浸水

東日本大震災規模の津波の状況をシミュレーションにより2017年12月に予測したものです。

-  20.0m以上
-  10.0m以上20.0m未満
-  5.0m以上10.0m未満
-  3.0m以上5.0m未満
-  0.5m以上3.0m未満
-  0.5m未満

浸水想定最大規模(洪水)

国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。

なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。

-  5.0m以上10.0m未満
-  3.0m以上5.0m未満
-  0.5m以上3.0m未満
-  0.5m未満

土砂災害(令和元年5月時点)

特別警戒区域

土砂災害が発生した場合、建物に損壊が生じ、生命や身体に著しい危害が生じる恐れがある区域。

警戒区域

土砂災害が発生した場合、生命や身体に危害が生じる恐れがある区域。

 土石流/特別警戒区域

 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域

 土石流/警戒区域

 急傾斜地の崩壊/警戒区域

 地すべり/警戒区域

公衆電話と

災害時用公衆電話(特設公衆電話)

主な公衆電話

災害時用公衆電話(特設公衆電話)

- 公衆電話の利用方法は、NTT東日本の公式ホームページ(https://www.ntt-east.co.jp/ptd/contents/mag_public_kind.html)をご覧ください。
- 公衆電話の位置情報は、NTT東日本より2019年10月現在の情報を取得しました。
- 公衆電話は、「屋外」に設置されている「終日利用可」の情報となります。(設置場所によっては利用できない時間帯があります。)
- 公衆電話の設置場所は、移転または廃止により変更となる可能性があります。
- 災害時用公衆電話(特設公衆電話)の位置情報は、2019年9月末現在の情報を取得しました。

災害時用公衆電話(特設公衆電話)について

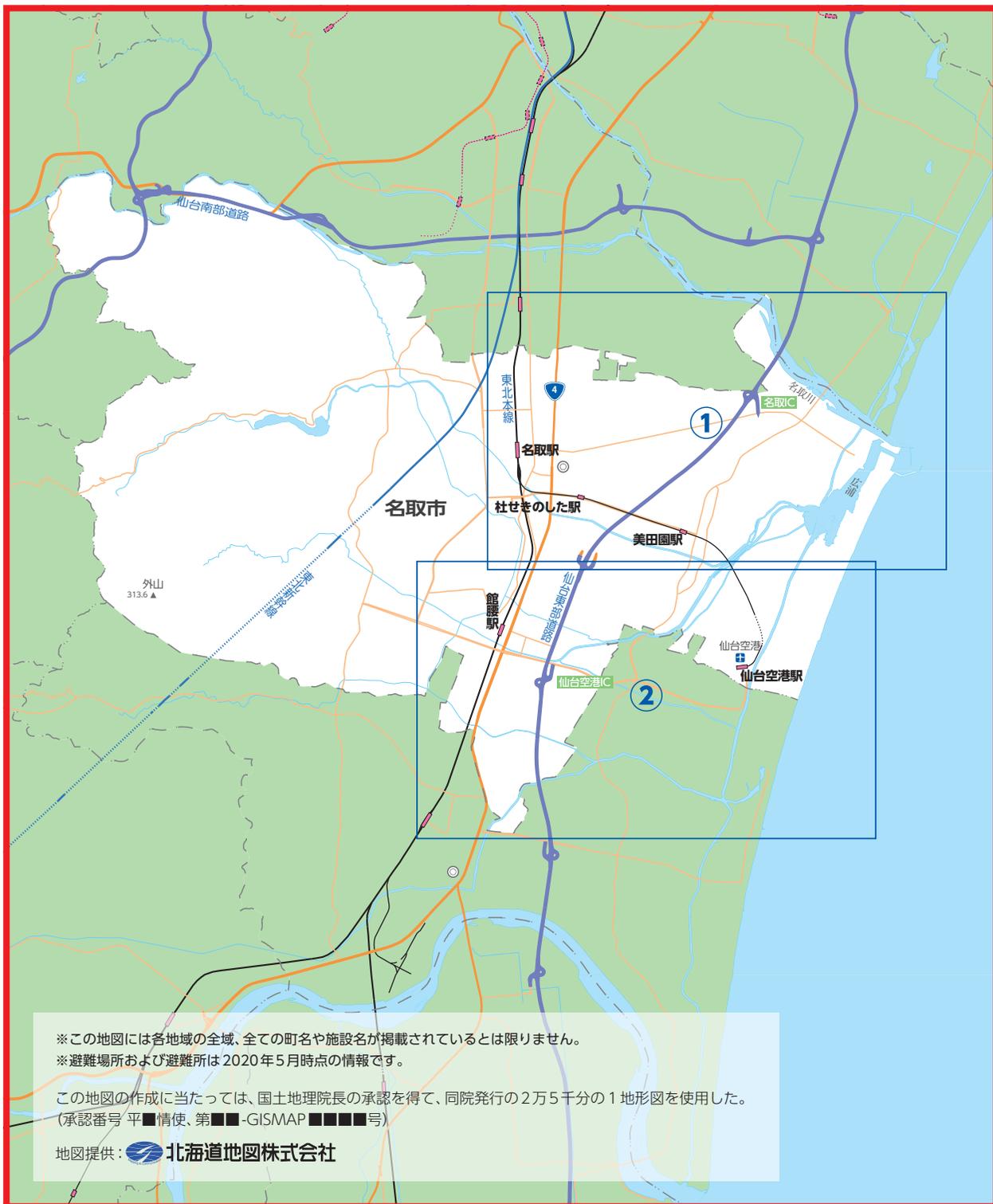
- 災害発生時などにおいて通信手段の確保のために被災者などが無料で使用することができます。
- 市町村などの要請にもとづき避難所などに事前に回線を構築します。
- 避難所などが開設された際には施設管理者により電話機が設置され利用可能となります。通常時はご利用いただけません。

※設置場所は施設管理者からの許諾が得られた場所を掲載。最新の情報はNTT東日本のホームページで確認できます。

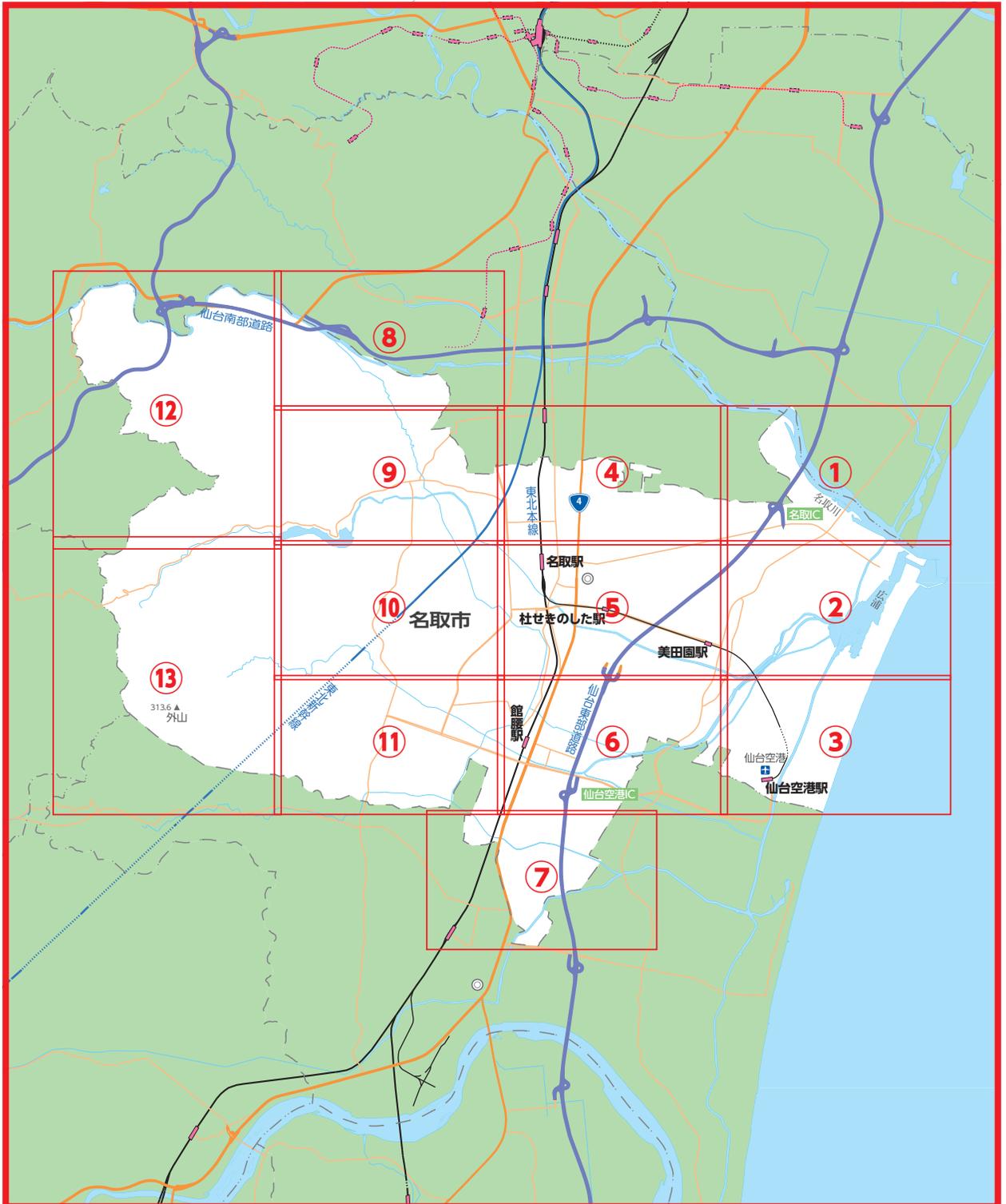
名取市ハザードマップ

指定避難所・公衆電話+津波、大雨・洪水、土砂災害の恐れのある区域を表示

津波浸水	① 名取沿岸(北部)	P20
	② 名取沿岸(南部)	P22



大雨・洪水・ 土砂災害	① 関上	P24	⑦ 館腰	P36
	② 関上・下増田	P26	⑧ 高館・ゆりが丘・那智が丘	P38
	③ 下増田	P28	⑨ 高館・ゆりが丘・那智が丘	P40
	④ 増田・増田西・関上	P30	⑩ 愛島・増田西・名取が丘	P42
	⑤ 増田・増田西・下増田・館腰・名取が丘・関上	P32	⑪ 愛島・館腰	P44
	⑥ 館腰・下増田・名取が丘	P34	⑫ 相互台・ゆりが丘 ⑬ 愛島	P46 P47

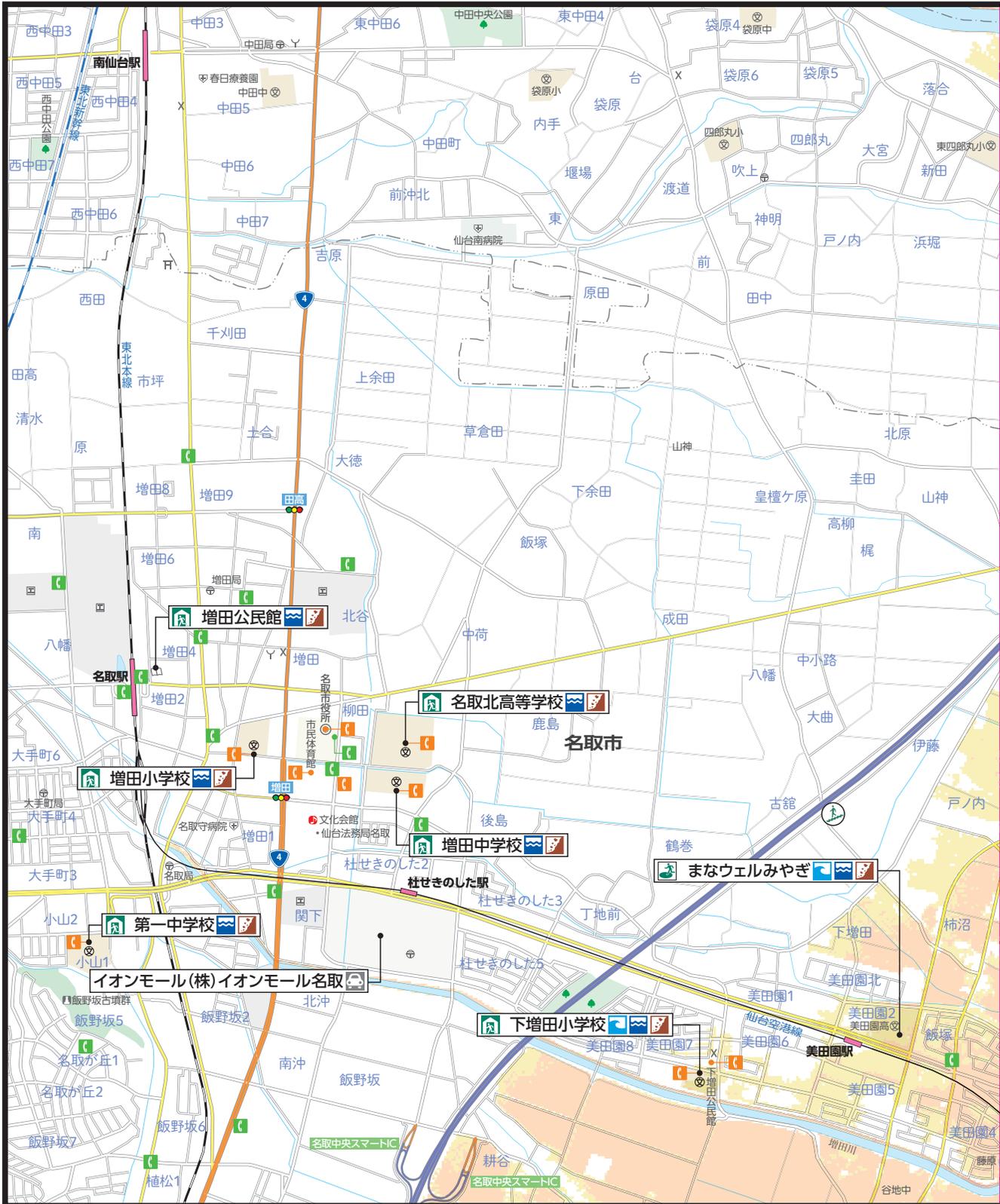


津波浸水

①名取沿岸(北部)

■アイコン

-  避難所
-  洪水・内水氾濫
-  緊急避難階段
-  避難場所
-  土砂災害
-  主な公衆電話
-  津波
-  風水害時の車両の緊急避難場所
-  特設公衆電話

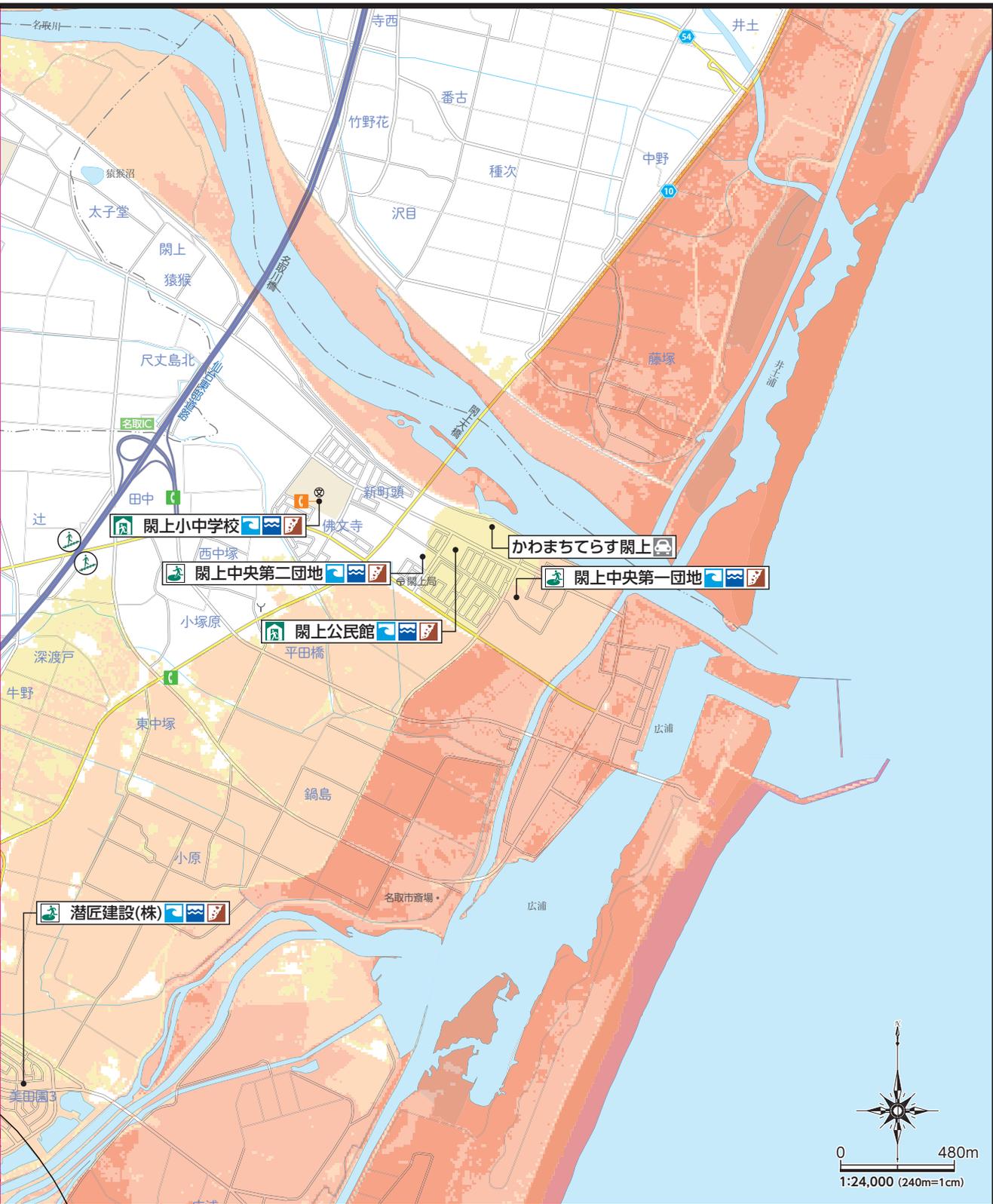


■津波浸水



大きな揺れ、長い揺れを感じたら、ラジオやテレビなどから情報を得て、すぐに避難することが重要です。
『より高く、より早く』

東日本大震災規模の津波の状況をシミュレーションにより2017年12月に予測したものです。



津波浸水

②名取沿岸 (南部)

■アイコン

-  避難所
-  洪水・内水氾濫
-  緊急避難階段
-  避難場所
-  土砂災害
-  主な公衆電話
-  津波
-  風水害時の車両の緊急避難場所
-  特設公衆電話

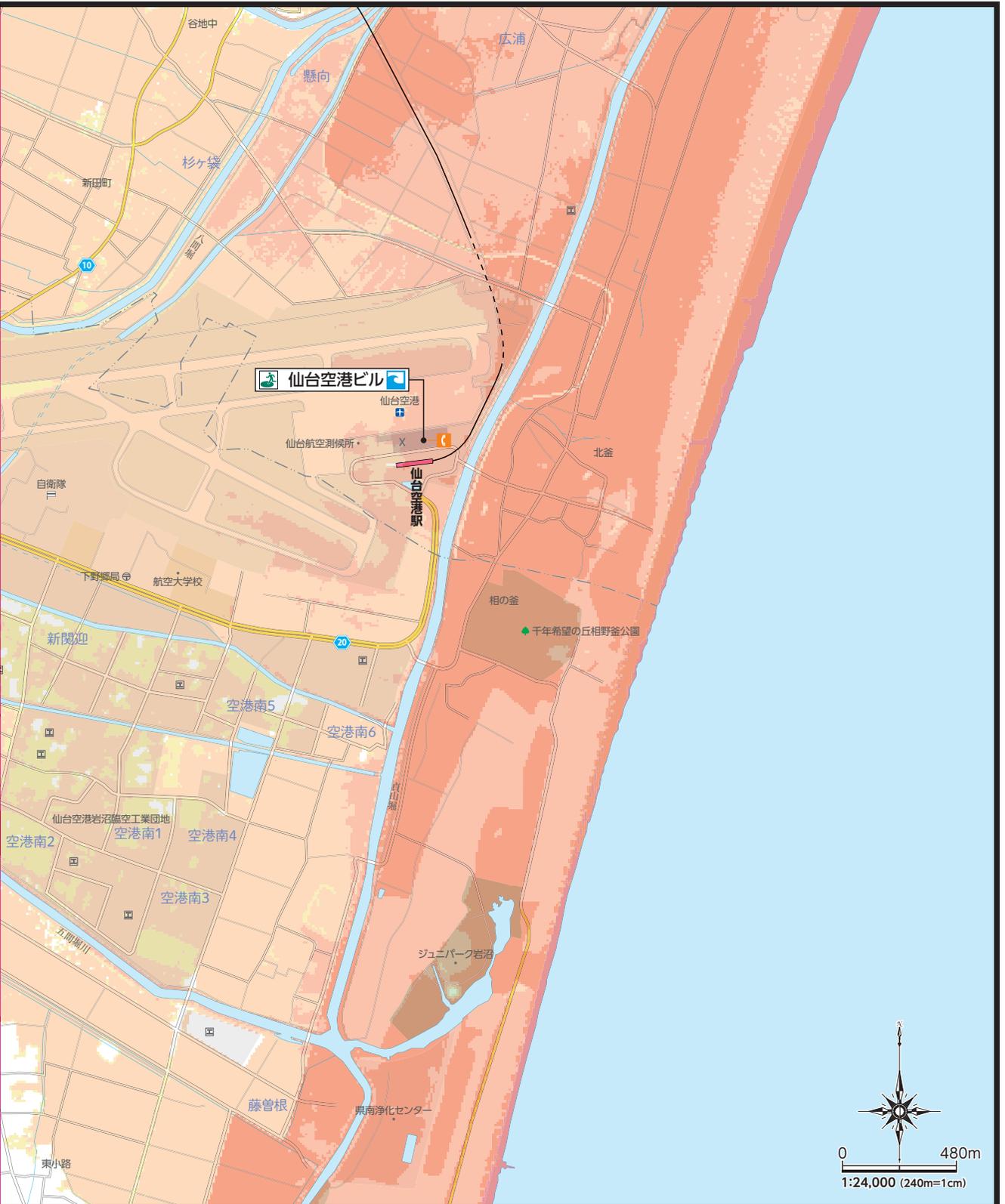


津波浸水



大きな揺れ、長い揺れを感じたら、ラジオやテレビなどから情報を得て、すぐに避難することが重要です。
『より高く、より早く』

東日本大震災規模の津波の状況をシミュレーションにより2017年12月に予測したものです。



大雨・洪水・土砂災害

① 関上

■アイコン



避難所



避難場所



津波



洪水・内水氾濫



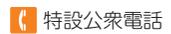
土砂災害



風水害時の車両の緊急避難場所



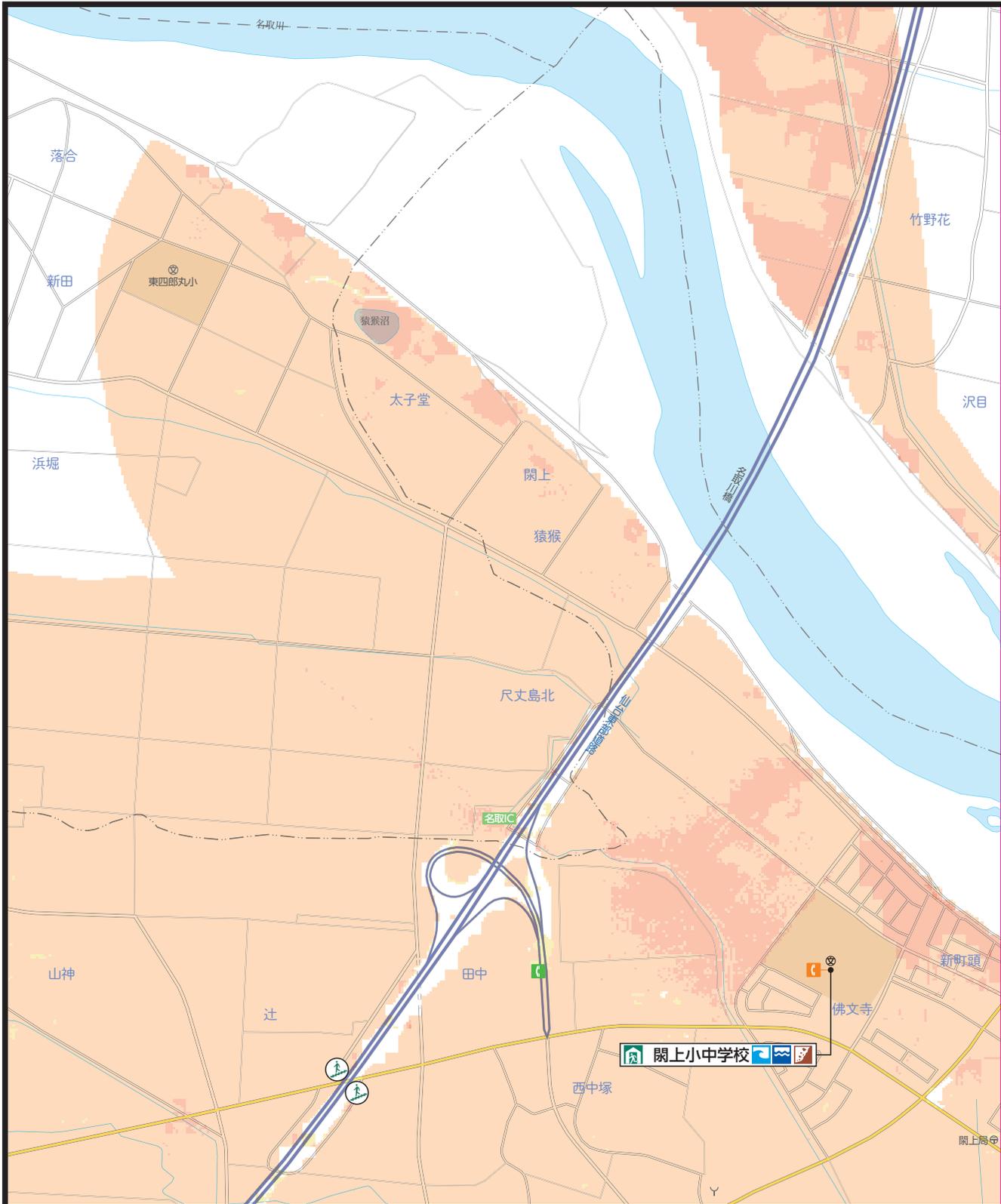
緊急避難階段



主な公衆電話



特設公衆電話



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域



国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。

なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。

番古

種次

中野

藤塚

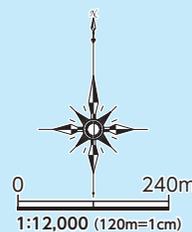
井上浦

関上中央第二団地

関上公民館

かわまちてらす関上

関上中央第一団地



大雨・洪水・土砂災害

② 閉上・下増田

■アイコン



避難所



避難場所



津波



洪水・内水氾濫



土砂災害



風水害時の車両の緊急避難場所



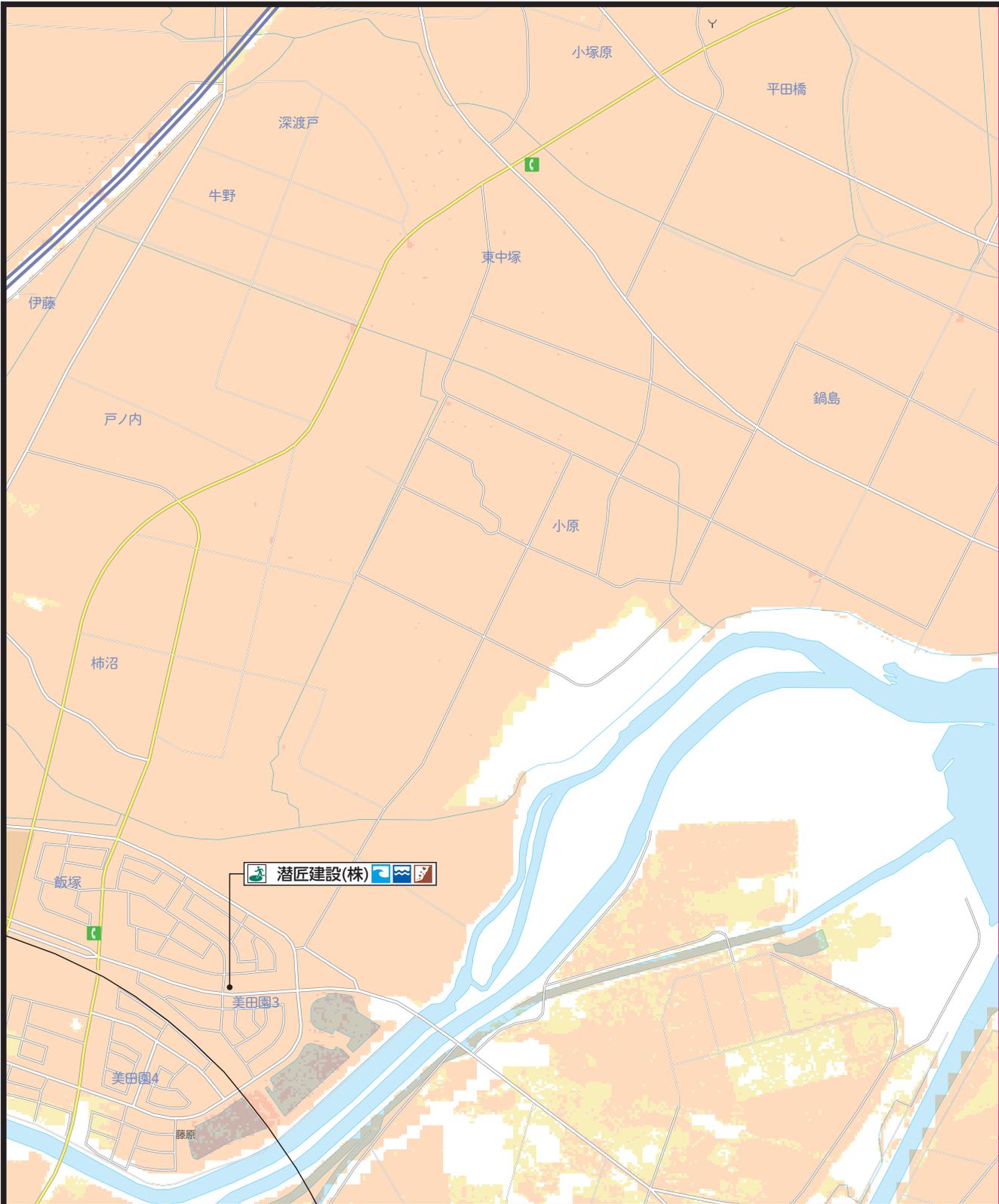
緊急避難階段



主な公衆電話



特設公衆電話



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域
- 土石流/警戒区域



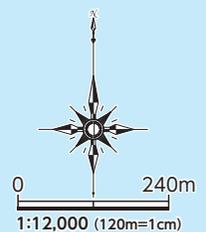
関上中央第一団地

名取市斎場

広浦

広浦

国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。
 なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っています。



大雨・洪水・土砂災害

③下増田

■アイコン



避難所



避難場所



津波



洪水・内水氾濫



土砂災害



風水害時の車両の緊急避難場所



緊急避難階段



主な公衆電話



特設公衆電話



■浸水想定最大規模(洪水)

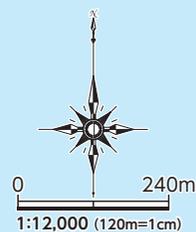
-  5.0m以上10.0m未満
-  3.0m以上5.0m未満
-  0.5m以上3.0m未満
-  0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

-  土石流/特別警戒区域
-  急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
-  土石流/警戒区域
-  急傾斜地の崩壊/警戒区域
-  地すべり/警戒区域

国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。

なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。



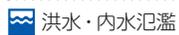
大雨・洪水・土砂災害

④ 増田・増田西・関上

■アイコン



避難所



洪水・内水氾濫



緊急避難階段



津波



土砂災害



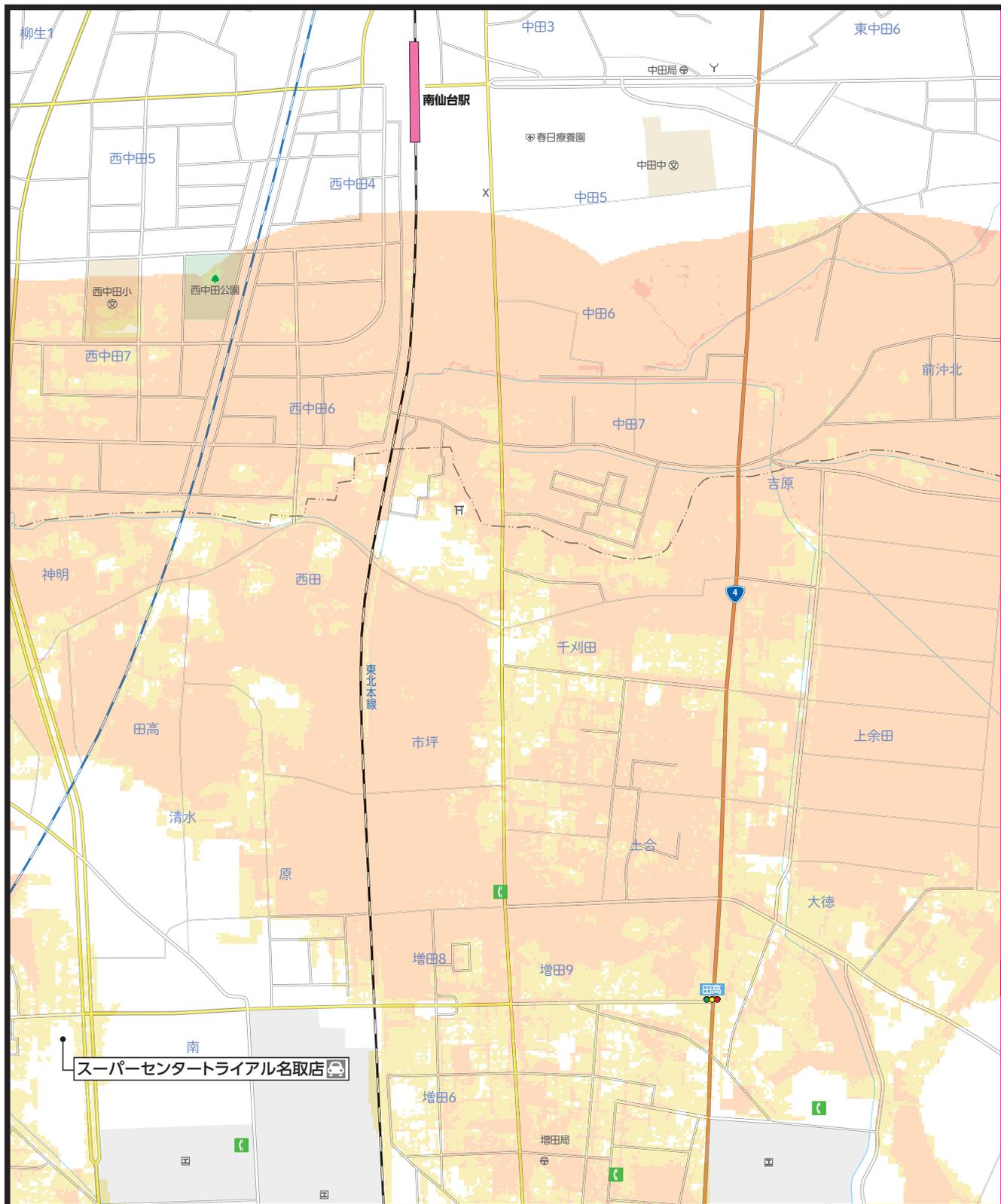
主な公衆電話



風水害時の車両の緊急避難場所



特設公衆電話

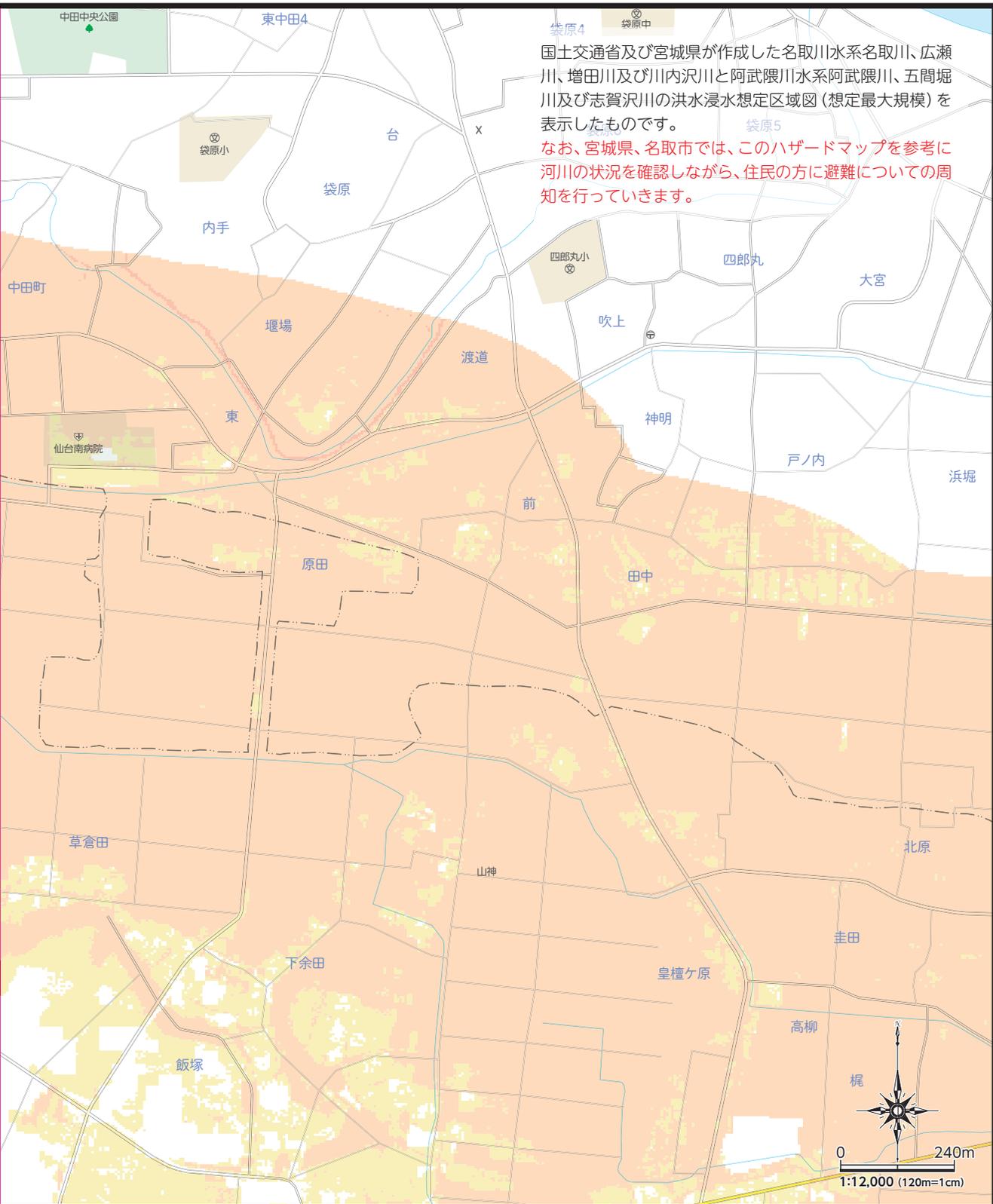


■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域



国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。

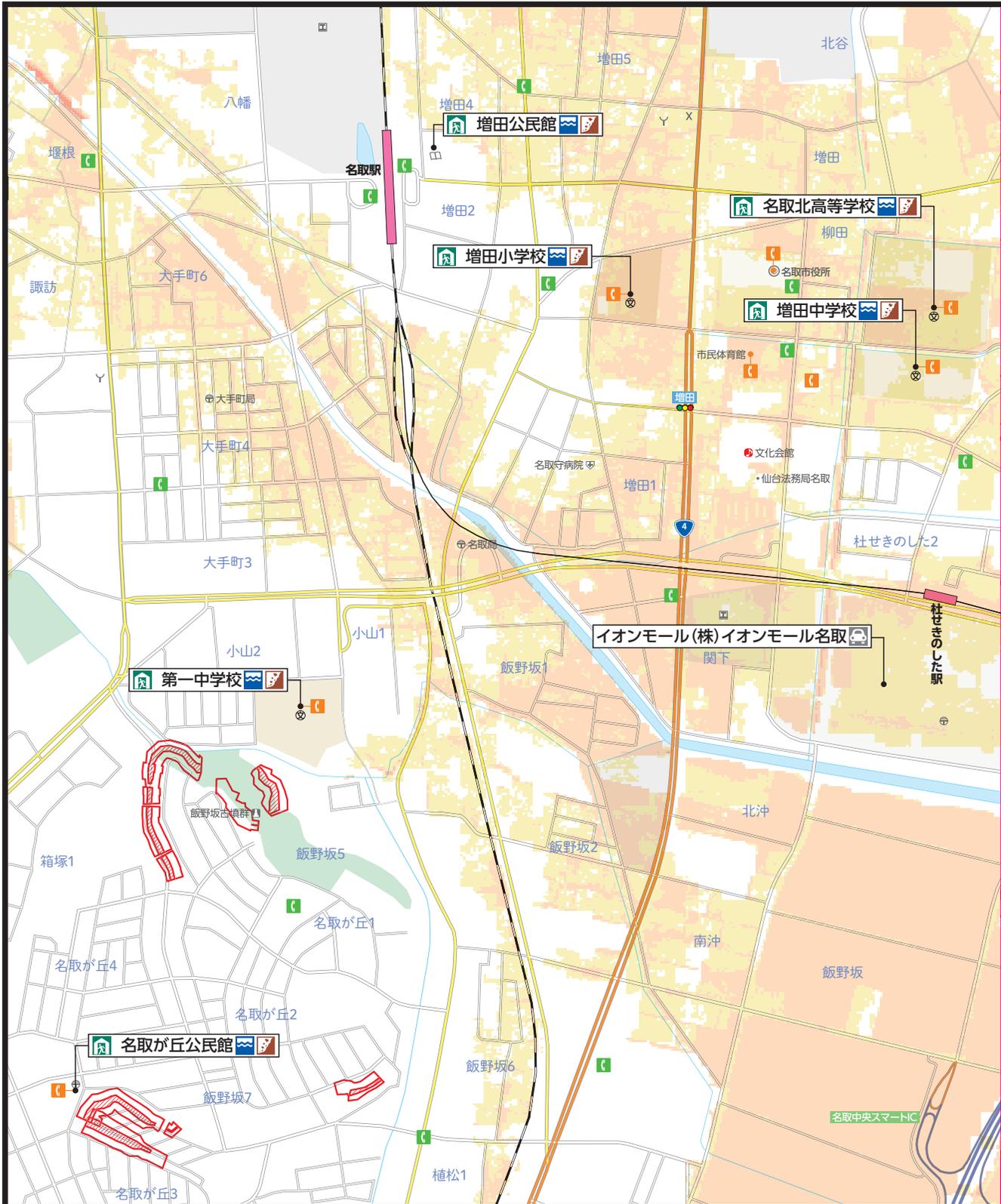
なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状態を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。

大雨・洪水・土砂災害

⑤ 増田・増田西・下増田・館腰・名取が丘・関上

■アイコン

- | | | |
|--|--|--|
|  避難所 |  洪水・内水氾濫 |  緊急避難階段 |
|  避難場所 |  土砂災害 |  主な公衆電話 |
|  津波 |  風水害時の車両の緊急避難場所 |  特設公衆電話 |



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域

住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。



大雨・洪水・土砂災害

⑥館腰・下増田・名取が丘

■アイコン

- | | | |
|--|--|--|
|  避難所 |  洪水・内水氾濫 |  緊急避難階段 |
|  避難場所 |  土砂災害 |  主な公衆電話 |
|  津波 |  風水害時の車両の緊急避難場所 |  特設公衆電話 |



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域

住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。



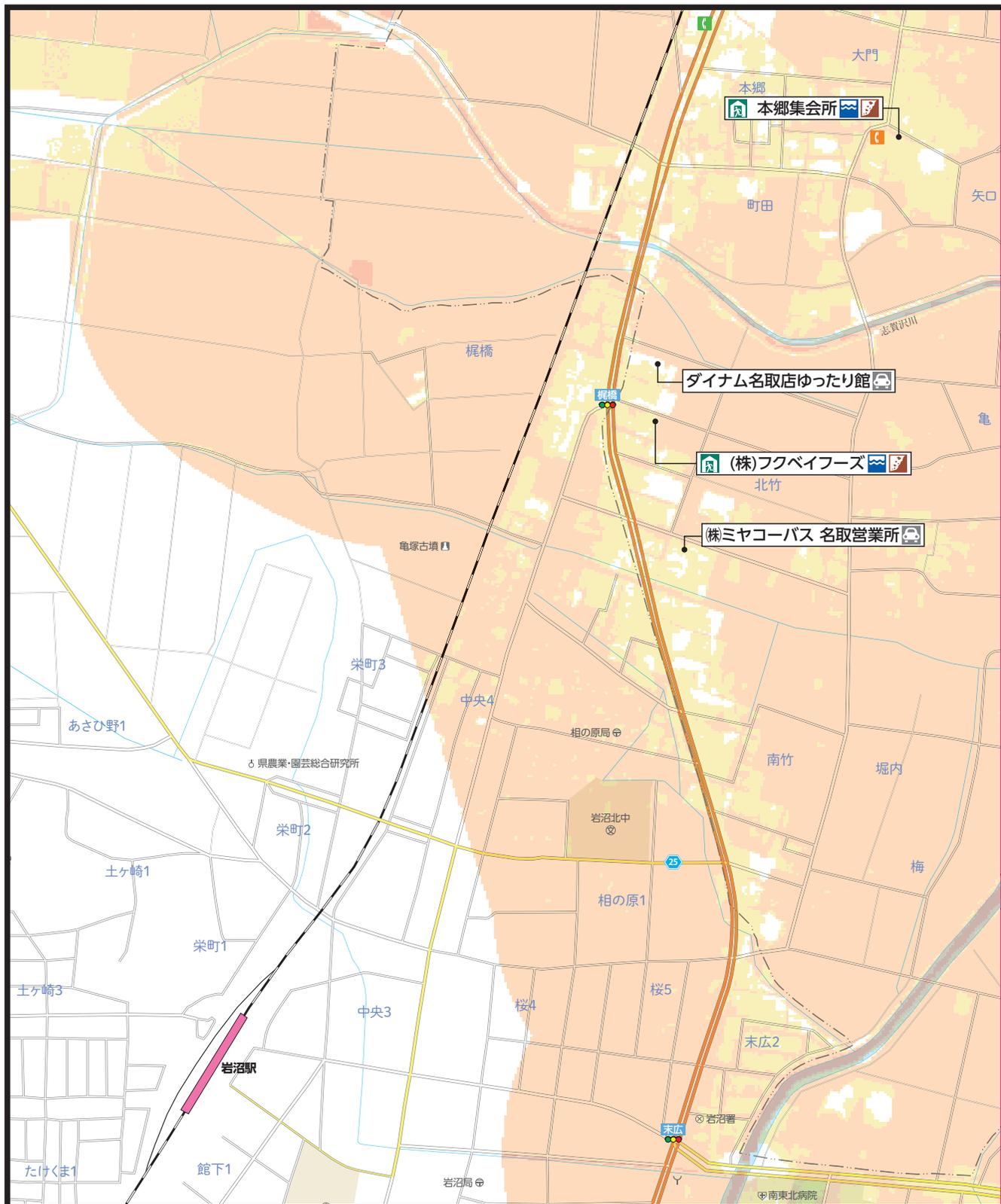
国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。
 なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。

大雨・洪水・土砂災害

⑦館腰

■アイコン

-  避難所
-  洪水・内水氾濫
-  緊急避難階段
-  避難場所
-  土砂災害
-  主な公衆電話
-  津波
-  風水害時の車両の緊急避難場所
-  特設公衆電話



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上 10.0m未満
- 3.0m以上 5.0m未満
- 0.5m以上 3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域
- 土石流/警戒区域

住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。



国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。

なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。

■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域

住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。

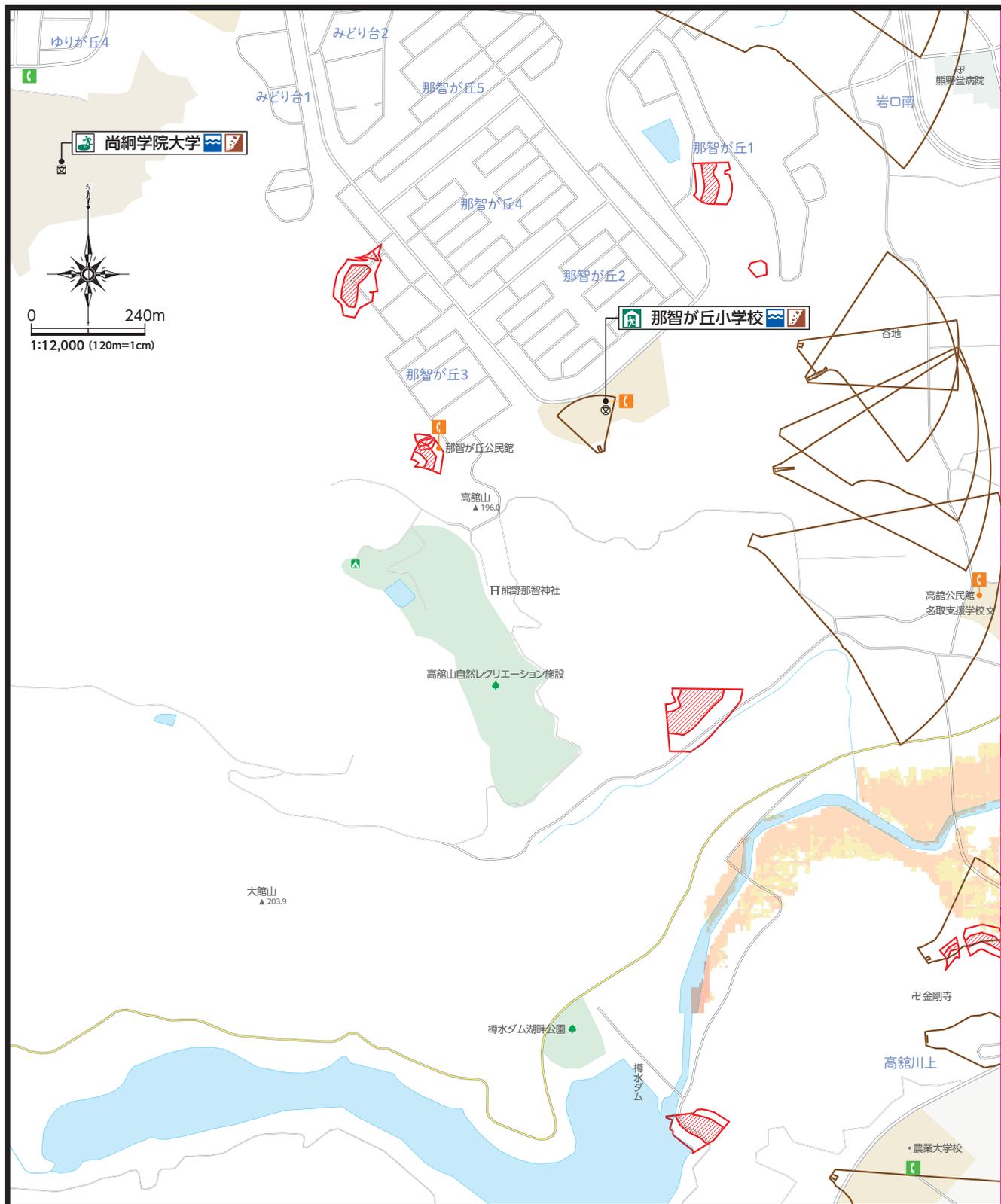


大雨・洪水・土砂災害

⑨ 高館・ゆりが丘・
那智が丘

■ アイコン

- | | | |
|--|--|--|
|  避難所 |  洪水・内水氾濫 |  緊急避難階段 |
|  避難場所 |  土砂災害 |  主な公衆電話 |
|  津波 |  風水害時の車両の緊急避難場所 |  特設公衆電話 |



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 地すべり/警戒区域
- 土石流/警戒区域

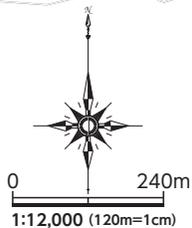
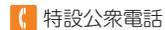
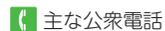
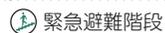
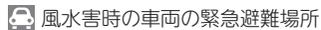
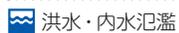
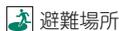
住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。



大雨・洪水・土砂災害

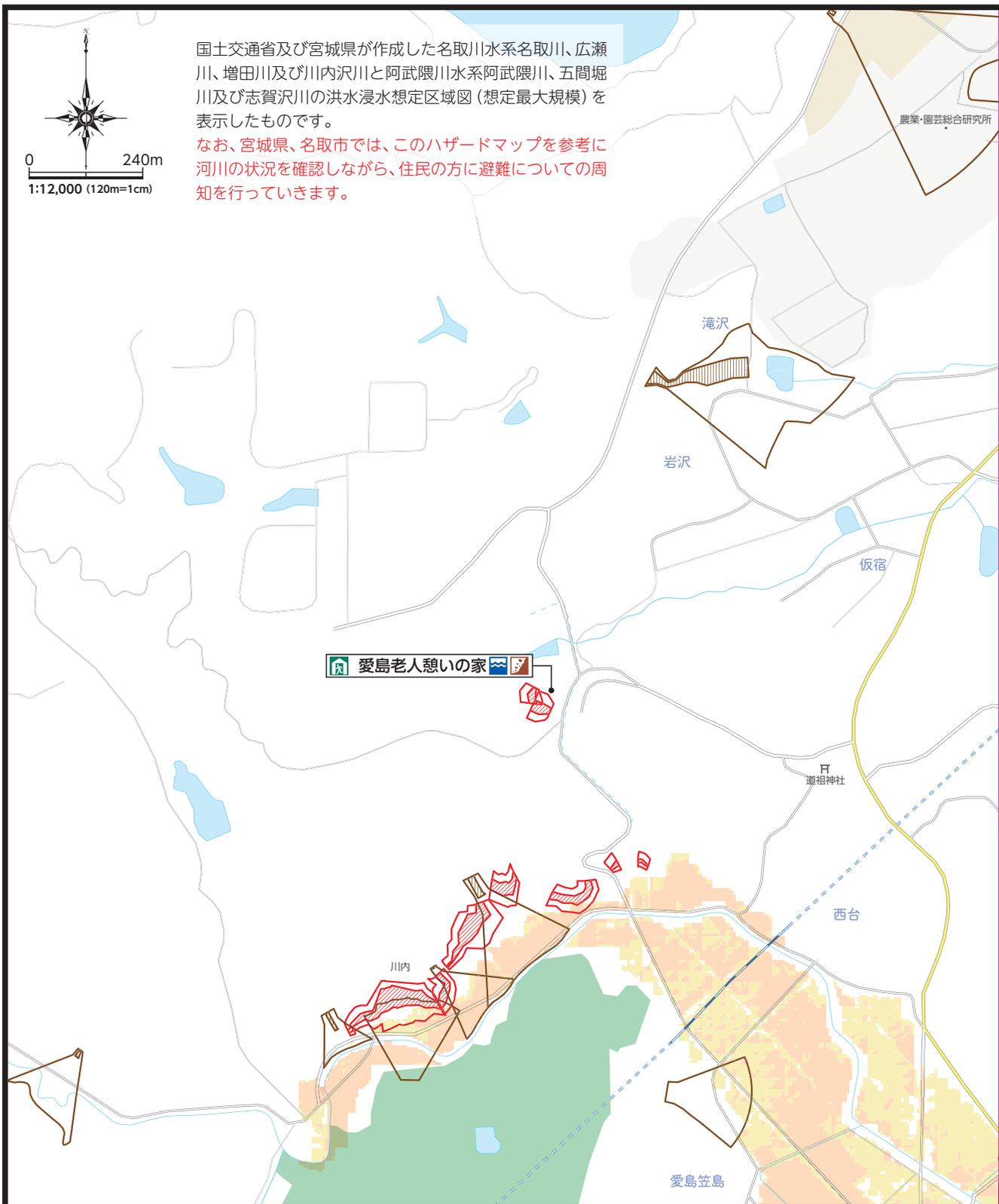
⑩ 愛島・増田西・名取が丘

■アイコン



国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）を表示したものです。

なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。



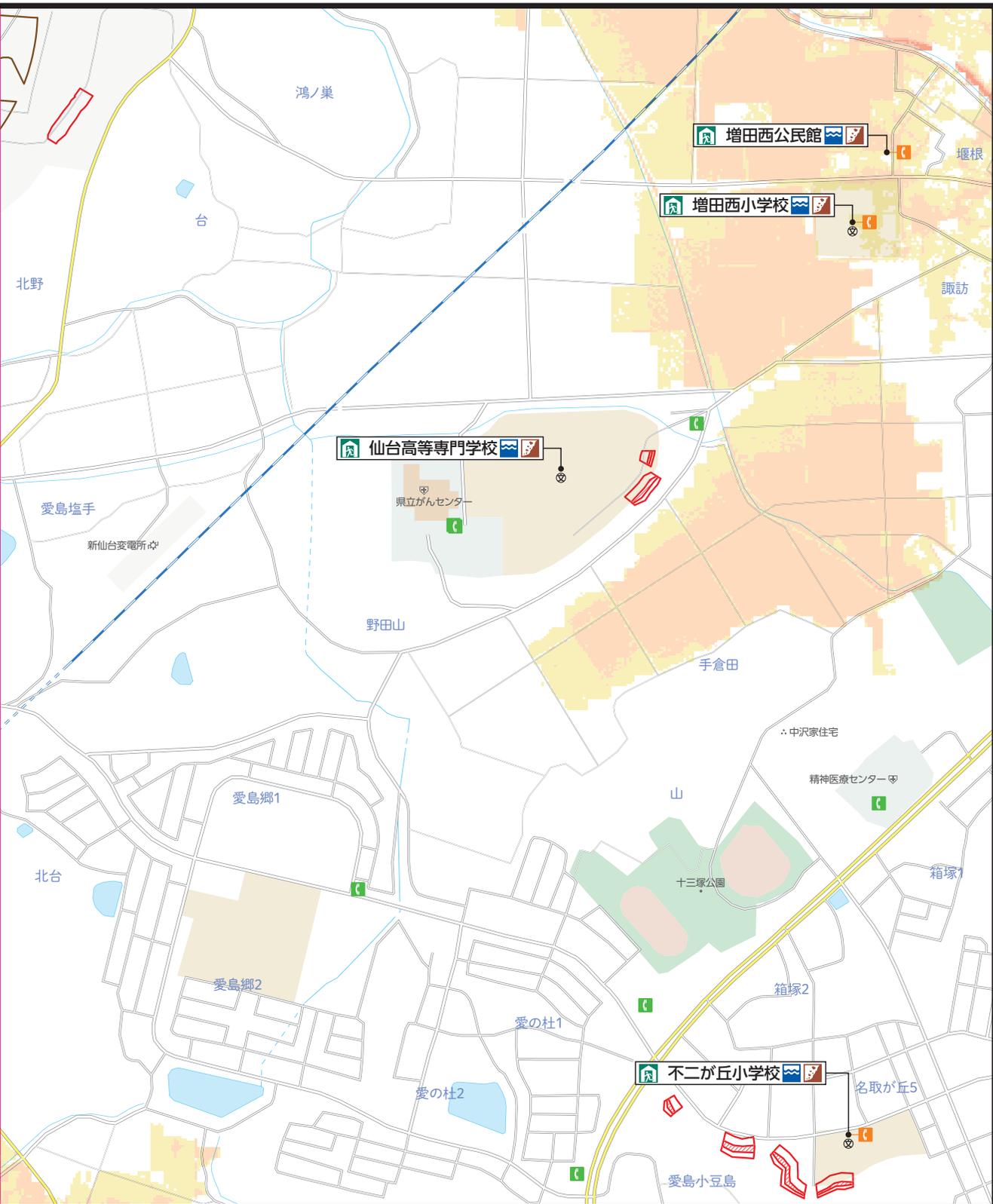
■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上 10.0m未満
- 3.0m以上 5.0m未満
- 0.5m以上 3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域

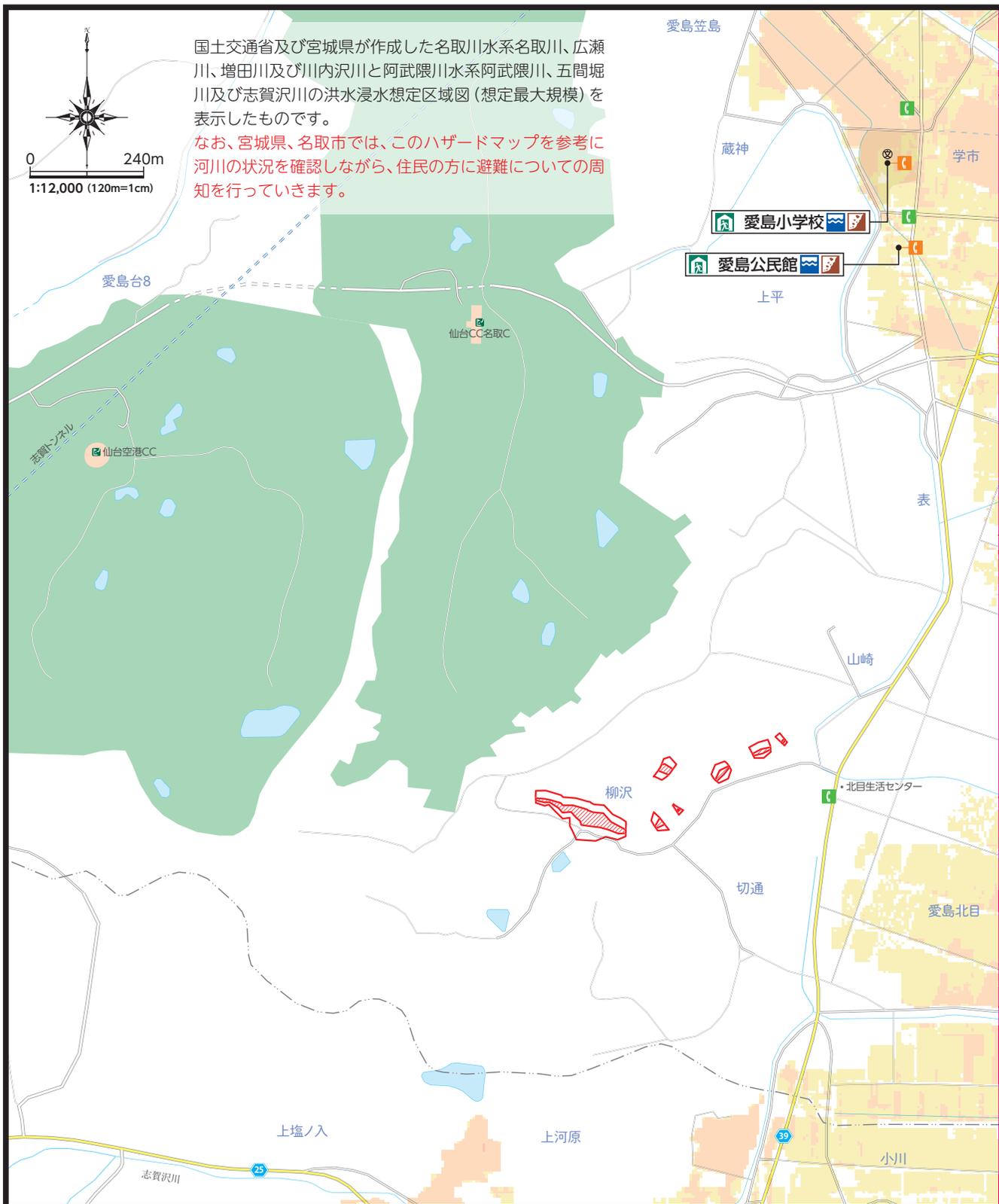
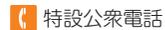
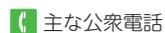
住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。



大雨・洪水・土砂災害

⑪ 愛島・館腰

■アイコン



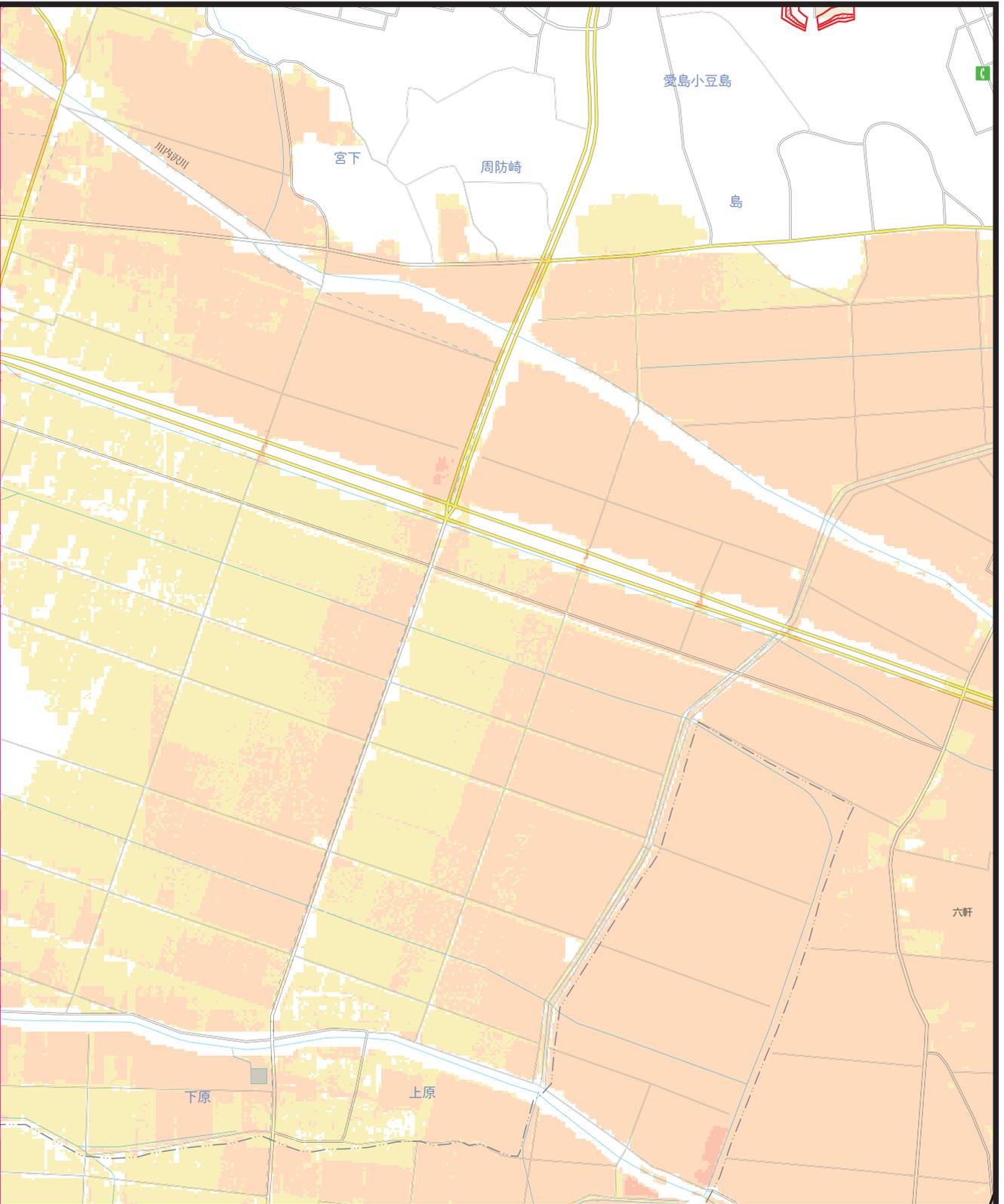
■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域

住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。

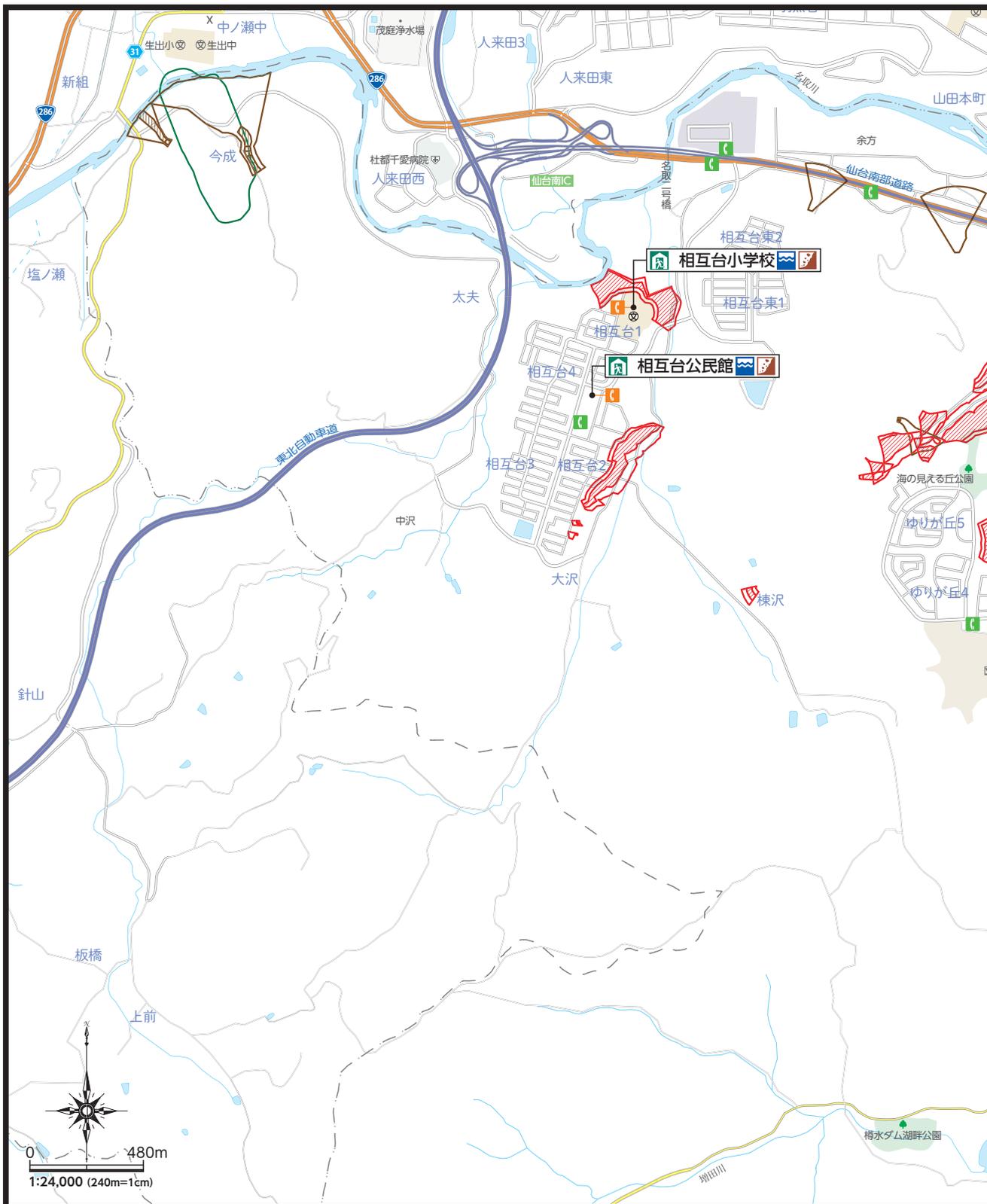


大雨・洪水・土砂災害

⑫相互台・ゆりが丘

■アイコン

-  避難所
-  洪水・内水氾濫
-  緊急避難階段
-  避難場所
-  土砂災害
-  主な公衆電話
-  津波
-  風水害時の車両の緊急避難場所
-  特設公衆電話



■浸水想定最大規模(洪水)

- 5.0m以上 10.0m未満
- 3.0m以上 5.0m未満
- 0.5m以上 3.0m未満
- 0.5m未満

■土砂災害(令和元年5月時点)

- 土石流/特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/特別警戒区域
- 土石流/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 急傾斜地の崩壊/警戒区域
- 地すべり/警戒区域

住んでいる地区に土砂災害警戒情報が発令された場合すぐに避難することが重要です。

大雨・洪水・土砂災害 13 愛島

国土交通省及び宮城県が作成した名取川水系名取川、広瀬川、増田川及び川内沢川と阿武隈川水系阿武隈川、五間堀川及び志賀沢川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を表示したものです。

なお、宮城県、名取市では、このハザードマップを参考に河川の状況を確認しながら、住民の方に避難についての周知を行っていきます。





名取市

名取市民防災マニュアル

発行年月：2020年9月 発行：名取市

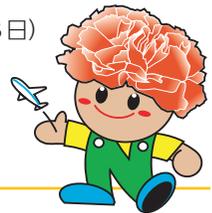
問い合わせ：電話 022-384-2111 (代表) 〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田80

開庁時間／午前8:30～午後5:15 定休日／土・日・休日、年末年始(12月29日～1月3日)

※12月28日が土曜日に当たるときは12月28日～1月5日まで閉庁

※12月28日が日曜日に当たるときは12月27日～1月4日まで閉庁

掲載している情報は、原則として2020年7月現在のものです。



●NTTドコモは日本電信電話(株)の登録商標です。●SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク(株)の登録商標または商標です。●[au][EZweb][Cメール]は、KDDI(株)の登録商標または商標です。●TwitterおよびTwitterロゴ、Twitterの「T」ロゴ、Twitterの青い鳥は、米国およびその他の国におけるTwitter Inc. の登録商標です。●FacebookおよびFacebookのロゴはFacebook Inc. の登録商標または商標です。●LINEは、LINE(株)の登録商標または商標です。●本誌に掲載されているアプリ名、会社名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。●二次元バーコードの読取は、携帯端末機器、印刷状態などにより正確に読取ができない場合がありますので、予めご了承ください。また、ご利用の際にはパケット通信料がかかります。●本誌に掲載されている体験談は個人の主観であり、発言内容について、有効性を保証するものではありません。●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

【本誌に掲載されている写真・記事・イラストの無断掲載および複写を禁じます】